



## 鬼を退治だ！あの鬼の正体は？

今日は節分会の日、朝から緊張気味に登園した子もいたようでした。子どもたちが制作した各自の鬼さんはかわいいものばかり。私は「園長先生お電話です。」の放送で場を離れたのでその後の様子は見ていません。保育士鬼が2鬼登場して「鬼は外、福は内」が始まって大はしゃぎだったそうです。見たかったな。その後、「ドン！ドドン！」太鼓の音が登場の合図になったように「最強の下牧オリジナル鬼」が子どもの前に現れたというのです。



鬼退治の本番です。部屋の隅で職員の陰に潜む子、鬼から逃げ惑う子、大泣きして保育士の腕の中にうずもれる子。反対に、果敢に豆を投げつける子、ひるんでもへっちゃらを装おうと頑張る子……。鬼も大暴れの末、へとへとになって降参。帰りのバスの中では「あの鬼は誰だったんだろう？」「園長先生かな？」「園長先生は電話をしていたはずだから違うよ。」「じゃ、野村先生かな」「私は、ずーっとあの場所にいたじゃない。(野村副園長)」こんな会話が続いたそうです。(しめしめ、うっふっふ)

## 雪の園庭は子どもの天国

水曜日から金曜日まで、下牧こども園の子どもたちは雪三昧の3日間でした。お部屋の先生の「雪遊びに行くよ！」の号令で、待ちましたとばかり我先にと銀世界に飛び出していきます。雪玉を持った子どもたちがじわじわと私に近づいてきます。私だって無防備ではなく、むしろ待ち構えて一気に先制攻撃です。多勢を相手に防戦になることがあっても、相手が背中を



見せたら追いかけて行って2倍返しです。雪合戦は、野球で鍛えた私のコントロールの見せどころです。そしてこんな日は、下牧こども園の雪の園庭も、子どもの遊び心を最大限に引き出す力の見せどころです。

上の二つの記事は、下牧こども園ホームページ「園長のニコニコニュース」の中にあります。よかったら、他もご覧ください